

垣根がないのはよいことばかりか？ 科学技術をめぐるさまざまな文脈の分業のすすめ

2020年2月6日（木）15:00～17:00

ゲスト 伊勢田 哲治（京都大学大学院文学研究科 准教授）

インターネットの発達、とりわけ近年の SNS の発達によって専門家と一般人の間で、また異なる分野の専門家の中で、それまで考えられなかったような交流が実現するようになった。こうやって垣根が取り払われるの是一見よいことばかりのようにも見えるが本当にそうだろうか。このトークでは、むしろ科学技術について考えるさまざまな文脈の間で、適度な「垣根」を設けた方がよいのではないか、という考え方を提案する。

会場 京都大学 吉田泉殿

- *京町家風の建物です。
- *普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- *入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 20 名程度

- *定員を超えた場合は、協見となります。
- *当日参加も可能です！
- *お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 とくになし

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志（今回の担当：清水智樹）

- *この研究会は、京都大学「学問と社会をつなぐコミュニケーション探究ライトユニット」の第7回研究会と共同開催いたします。



お申し込みはコチラから → <https://forms.gle/GDCg7xHqCMsNxtSXA>